

# 54字の物語を作ってみよう

年 組  
名 前

★『54字の物語』は、1話を54字で表現する、新しいかたちの物語です。オリジナルの物語を考えて、原稿用紙に書いてみましょう。

## ●基本ルール

1. 文字数は54字ぴったりにおさめること
2. 句読点やカギ括弧も1字と数えること  
(ただし、最初の1マスは空けなくてよい)

▼食べたのはエビではなくて… (『54字の物語』より)

先	日	研	究	室	に	送	っ	て
く	れ	た	大	き	な	エ	ビ	、
お	い	し	か	っ	た	よ	。	話
は	変	わ	る	が	、	例	の	新
種	生	命	体	の	サ	ン	プ	ル
は	い	っ	届	く	の	か	ね	？

▼ぜんぜん反省していない! (14才・女子の作品)

「	金	返	さ	な	か	っ	た	ら
針	千	本	飲	ま	す	っ	て	言
っ	た	ろ	!	「	す	ま	な	
い	、	す	ぐ	針	千	本	買	っ
て	く	る	か	ら	、	金	を	貸
し	て	く	れ	な	い	か	？	「

## 作り方のコツ

- ①どんなテーマで物語を書くか決める。  
身近な出来事や、最近読んだ本、アニメやドラマをヒントにしましょう。
- 例：テスト勉強をする／友達が遅刻した  
家族で旅行に行く／釣りをしている
- ②テーマにそって「普通の物語」を考える。  
たとえば「釣りをしている」というテーマでは「魚が釣れた」物語が生まれます。
- ③②とは別の展開を考える。  
ちよっと不思議な出来事を入れると、物語がおもしろくなります。
- 例：魚ではない何かが釣れた。
- ④③で考えた展開に対して、「どうしてそうなったのか？」を考えながら、字数を気にせずに物語を作る。  
推理ゲームをするように、考えてみましょう。想像力の使いどころです。
- 例：男が釣りをしている。大物が釣れた  
と思ったら、ゴム栓だった。それは海水を貯めておくための栓だったので、海水が全部なくなりました。
- ⑤54字ぴったりになるよう調整する。  
オチを全部説明せずに、読み手が想像をふくらませることができるよう書き方にする、印象的な物語になります。
- 例：数分間の格闘の末、彼が釣り上げたのは小さなゴム栓だった。世界中の海面が少しずつ下がりはじめたのはこの日からだ。

# 54字の物語


9×6

●メモ

54字の物語を作ってみよう

年 組  
名 前

